

カーボスターP 透析液に変更後の Ca 値の検討

長崎腎病院

○宮本勘大、矢野利幸、高木伴幸、宮崎健一、李 嘉明、原田孝司、船越 哲

【背景】

カーボスターP 透析液(以下カーボスター)は、Ca 濃度 2.75mEq/L 透析液と比較すると、血清 Ca 値の上昇をきたすことが懸念されている。

【目的】

Ca 濃度 2.75mEq/L の透析液からカーボスターに変更し、Ca 値の変動について検討を行う。

【対象・方法】

当院在籍の外来維持透析患者 203 名を対象に、カーボスター変更前後 6 ヶ月の生化学パラメータの推移を比較検討する。

【結果】

血清補正 Ca は 8.82 ± 0.66 mg/dl から 8.91 ± 0.62 mg/dl と有意に上昇した。P は 5.99 ± 1.50 mg/dl から 5.84 ± 1.55 mg/dl と有意に低下した。I-PTH について有意差は認められなかった。

【考察】

今回の検討では、Ca バランスはプラス側へと働き、カーボスターのキレート効果を考慮しても、有効 Ca 濃度は少なくとも 2.75mEq/L 液より高い可能性があり、今後、併用薬剤の調整と Ca 推移の継続的観察が必要ではないかと示唆された。